

## 「市長と語ろう！」 in 幸学習館【概要】

平成29年11月11日（土）

10時～11時30分

幸学習館

### 1 開会の挨拶

（市長）

おはようございます。今年もタウンミーティングの時期がやってまいりました。私は市長就任以来、11年目を迎えました。これまでのタウンミーティングの回数は100回を超えることになり、大変ありがたいことであると思っております。司会者のほうから、第4次長期総合計画の中で住みよいまちをつくっていきましようというお話がありましたが、第4次長期総合計画は、「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」という大きな命題がございます。にぎわいにつきましては、ご説明するまでもなく、大勢の来街者を集めることによってまちをにぎやかに、そして豊かにしていこうということです。主に経済面の意味合いが強いわけです。やすらぎの場合は、芸術や文化、あるいは安全や安心、そして子育て、そしてまた大きな命題である高齢対策、これらをしっかりと政策していくことにより、立川に住む人が気持ちやすらかに心配のないような形で生活が送れるよう、そんなまちをつくっていきこう、こういう意味合いでございます。その10年計画の3年目が終わろうとしている中で、皆さん方のお声を聞いて、より一層のやすらぎのまちの実現に向けて邁進していこうと思っております。

しかし、18万人を超える市民の皆さんからお聞きした意見を全て実現できるというわけにはいきません。だからこそ、税金を大切に使うためには、できるだけ大勢の皆さんのお声を聞いて政策を選んでいく、これが大事であると思っております。そういう意味では、皆さん方からお寄せをいただいたご意見を集約する中で、実現を図っていこうと思っております。

限られた時間で大変申し訳ありませんが、ぜひ皆さん方の忌憚のない、多くのご意見をお聞かせいただければありがたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

### 2 意見交換

（参加者）

家にネズミが出るようになり、今年は駆除業者を呼んで対策しました。個人宅における害獣に対しては、自分の家の敷地なので自分の家で対処しなくてはいけないと思い、業者に頼む前に、ホームセンターにネズミ取りシートを買いに行きましたが、全部売り切れでした。我が家だけではなくて、この地域全体がネズミに困っているのではないかなと思ひまして、業者に聞いたところ、結局、ネズミというのは夜な夜な通ってくるということなので、自分の家の部分は自分でやるとして、害獣対策をお願いしたいと思ひます。

（市長）

実は私もネズミ取りを2つ持っています。2カ月ほど前に屋根裏に仕掛けて、仕掛けたらいなくなったようで取れなかったです。ハチの対策等は補助金を出しておりますが、ネズミに対しては、市として政策的に行ったということは、残念ながら私の記憶の中にはあ

りません。今まで公式にネズミ対策を行ったことがありません。もう少し実態を調べて、市としてやらなければならない対策であるのかどうか、データもありませんので、少し調べさせていただきたいです。個人の手に負えないような内容ということであれば、直ちに対策をとっていかなければならないと思っておりますのでご了承願いたいと思います。

(参加者)

新清掃工場建設に関する経過について、今はどのようなになっているか。また、防犯対策として、防犯カメラのこれからの取り組みを教えてください。よろしくお願いします。

(市長)

新しい清掃工場に関しては、平成34年稼働を目指して準備をしております。1.2ヘクタールの広さで、1日の処理能力が100トンぐらいの処理能力です。立川市では、おかげさまでごみが減る傾向にあるので、今の清掃工場のような大きなものを建てる必要はないだろうということで、今の3分の2ぐらいの能力に落として建設する予定になっています。同時に、現在、若葉町にある清掃工場周辺の皆さんと、清掃工場を閉鎖するに当たり、どのような形でご迷惑をおかけした近隣の皆さんにお礼の形ができるかということ、自治会の役員さんに参加いただき、市の職員と一緒にその対策を話し合っているところです。

若葉町において、けやき台小学校と若葉小学校の合併が予定されており、若葉台小学校という名前でスタートすることになっています。そうすると、今の若葉小学校の跡地が空きます。大きな敷地を求めようとしても求めることができない中で、広い敷地をおかしな形で手放すということではなくて、若葉町地区の町の再編成をしたらどうかというお話も出ています。総合的に、清掃工場や若葉小学校の跡地を、市民の皆さんの一番納得のいく方法で今後使っていこうではないかという課題があります。そう遠くない時期に若葉町の皆さんの、それぞれの団体の代表の方に集まっていただき、相談していくことになると思います。その前段として、まず一番に課題になっている清掃工場の跡地をどうしていこうかというお話は、行政が異なる小平市と隣接するといった課題もあり、少し時間をかけていくべきではありますが、前を向いて進んでいます。

防犯カメラの件は、犯罪抑止という意味で非常に高い有用なものです。立川警察署からも、防犯カメラを見せていただきたいとの要望が頻繁にあります。市の防犯カメラは市が全部管理していますので、警察といえども、むやみやたらに貸し出して勝手に見るわけにはいきません。例えば立川駅北口のどこに設置してある防犯カメラの何日、何時から何時の間の内容を見せてほしいという申請書を警察から出していただきます。そして、公序良俗に反しない、あるいは個人的なプライバシーを侵すことのないような内容であるということを確認して警察に見せています。今までも学校の周りには幾つか設置してありましたが、3年計画の2年目として、立川市内の全小学校の通学路に、5台ぐらい設置する計画があり、来年には立川市内の全小学校の通学路に防犯カメラが設置し終わるという状況であります。

(参加者)

先ほど、若葉の再編成について、地域の方と話をされるという話があったと思いますが、なぜこのような質問をするかというと、私は自治会にも加入しておりますが、どのようにして自治会加入を推進し、加入者を増やしていくかということに頭を痛めており、そのヒ

ントになればということで、どのような人たちが再編成の話をしているのか、お聞かせ願いたい。

(市長)

学校の再編成の話はもう決まりまして、建築の内容まで学区の方々に披露して、説明をしております。ですから、学校の再編成自体の話し合いについてはもう終了したものという形になっています。

先ほど伝えたのは、その後をどうしようかというのが一大問題でありまして、何人かの議員の皆さんや、都議会議員の皆さんからお聞きしておりますが、若葉町全体の将来計画を立てていくのに絶好のチャンスだというお話を聞いております。今までまちの成り立ちというのは、どうしても小学校区とか中学校区を中心として進めていくのですが、今回は1町に小学校1つ、中学校1つですから、小中連携の絶好のチャンスで、小中一貫校みたいな形になるわけで、大変期待を寄せていただいております。そこが大きなキーワードとしてこれから若葉町の将来計画に、マイナスではなく、いい影響が出ていくのだろうと思います。

以前、富士見町の第八中の学区で、多摩川小学校が閉校になり、新生小学校として1校になりました。新生小、第八中という一貫校のような格好になっています。ただ、バイパスの南側の部分で他の中学区になっているため、全員が第八中に行っているわけではありません。今回の若葉小とけやき台小学校の場合は、完璧に1町1学区になりますので、私自身も期待をしています。

それに付随して、まちのあり方として、まだはっきりしてはおりませんが、これから公共施設も少し整えていこうというお話もあるようですが、いろいろな意見が出て、すばらしい若葉町地区になっていくのではないかと期待しております。

(参加者)

立川を良くしていこうということで、いろいろなことが論じられていると思いますが、他市と比べて立川のいいところというのは、持ち主が誰かはともかく、まだまだ土地があるということだろうと思います。その土地をどう有効に活用するのかというビジョンを掲げていただけないのかなと思います。

ここ数年で、ショッピングセンターのようなものが立飛のところにできました。ああいうものができてくるのは、それがつながりとしてどうなっていくのだろうか。話が飛ぶようですけれども、大学生の駅伝大会の予選が、ここに定着しつつありますが、これはどう市民の大会として生かせないのか。それから、スポーツをやるという意味でいえば、例えばプロ野球を誘致するような野球場をひとつ建てられないのか。野球はもう古いから、サッカーグラウンドはどうだろうか。子供たちがやっている野球場と競合するかもしれませんが、そういったところの土地があるという立川の利点を生かして、もう少し壮大なビジョンを掲げていただけないかなと思います。そんな中で、立川市長が日本の市長会の会長を務めるというぐらいの、上を向いていけるような立川市民でありたいと思います。

(市長)

ありがとうございます。もっともっとエンジンを大きくして頑張れというエールをいただいたと思っておりますが、ご承知おきいただきたいのは、立川には土地が多く、空いている土地が多いと、一見そう見えます。しかし、250ヘクタールぐらいが農地で、この農地

は個人所有です。しかも、5ヘクタールとか10ヘクタールとか北海道の農家のような持ち方でなくて、多い人でも3ヘクタールぐらいです。少ない人だと1ヘクタール程度です。それが4カ所、5カ所に分かれているわけです。私も砂川生まれの砂川育ち、西砂ですから、よく歴史を70年間見ているわけですが、今、五日市街道沿いの開発で家が建っていくのは、ほとんどが相続による売却です。ですから、私権の制限になってしまいますので、これに網をかけていくというのが極めて難しい。それから、納税猶予という制度もありますが、この場合もそれぞれのご家庭によって、兄弟が5人も6人もいるところで分配をするという形になっているようです。大変いいアイディアを頂戴したのですが、そこら辺がちょっとネックです。ただ、いろいろな形でやんわりと誘導はしています。例えば、農地の納税猶予制度、あるいはほかの形で開発しようというときには、きちんと公園はつくってくださいよとか、そういう形で誘導はさせてもらっておりますが、なかなか厳しいです。

それから、I K E Aのすぐ南側の元国有地3.9ヘクタールを立飛が買収されたと新聞報道がありました。あの3.9ヘクタールのうち、一番駅に近い場所にたましん本店が移転する。そして、真ん中あたりがホテルやいろいろな事務所、多少の店舗が入るかと思います。一番北側の部分にコンサートホールを予定しております。立飛の社長さんから聞いたところによりますと、収容2,500人のコンサートホールで、多摩地区では一番大きい収容人員を持つコンサートホールになります。さらに、南側のほうのコンサートホールの壁の半分を開閉式にして、芝生のエリアをつくるそうですが、アウトドアの人と、それからインドアの2,500人の人とのコラボができるような、そんな施設にするそうです。そうしますと、屋根の中に入っている2,500人と、屋外にいる2,500人とか3,000人の人が一体になれるわけですから、5,000人規模のコンサートもできるのではないかという、壮大な計画を立飛さんがお持ちのようでございますので、大変期待をしております。

来年の春に建築を始めますが、起工式をやる前のひとつの奉納行事として、流鏑馬を今月の19日の日曜日に行く予定です。午前と午後と2部制度でやるそうでして、素晴らしいものになるのではないかなと期待しております。立飛さんには、立川の活性化のために、大相撲を昨年開催してもらいました。今年はお休みしましたが来年は開催するそうです。来年は、立飛駅横のアリーナを会場として開催するそうです。アリーナの中に土俵ができるような土台をつくったそうです。土俵は、何トンもあってものすごく重いそうです。普通の体育館ではとてもできない。だから、最初から土俵をつくれるよう、土台をしっかりとして、毎年開催できるようにしているようです。「立川場所」というのは、もしかしたら来年から定着していくかもしれません。市長としてはとてもありがたいお話だと思っております。

それから、プロ野球のできるような野球場というお話ですけれども、野球場につきましては、3万人も入れるようなスタンドを備えた野球場をつくるというのは厳しいなと思っています。ただ、その野球場の東側に陸上競技場がありますが、あの陸上競技場を改修しようと予算計上しようと思いました。しかし、オリンピック需要で建築費が大体3倍ぐらいに上がってしまうことがわかり、2年ほど先送りして、改めて整備を進めていこうという形になっております。

以前、箱根駅伝の予選会を、埼玉県森林公園で開催してほしいという陳情が随分あったようですが、陸上競技連盟へ行き、立川での開催をお願いしたり、大学駅伝の「のろし」を幾つも上げたり、いろいろな形で立川での定着に努力をしております。これだけ地元立

川も頑張って協力してもらっているし、昭和記念公園でのコースというのは、大学だけでなく、一般市民からも申し分のないコースだということで、もう心配しなくていいのではないかといいことを大学駅伝の役員さんから言われました。立川ハーフマラソンは20kmの距離で、駅伝の選考会とは別に、全国の大学生が集まる選考会として開始しております。立川ハーフマラソンの一環として、ほとんど箱根駅伝の予選会とほぼ同じコースだそうです。ですから、大学生も一種の箱根駅伝の予選会の予行として参加してくれるらしいです。そんなことで、もうしっかりと定着していますので、1万5,000人の参加がありますので、これを応援していきたいと考えています。

**(参加者)**

若葉公園の犬の立ち入りを禁止してほしいです。国分寺の公園が犬の立ち入りを禁止したため、若葉公園にどっと来てしまっている。公園緑地課が掲示しても、すぐ破られたり、トイレの中へフンを捨ててしまう。注意しても破られてしまう。公園に犬は入らせないでくださいと市役所に何回も依頼しましたが、若葉公園の中で犬の排せつをやめてくださいという看板を市役所が掲示しただけでした。若葉公園には築山があるのですが、草が生えると、犬がそこで排せつしてしまう。業者が草を刈ってくれますが、草が生えるとまた排せつを繰り返してしまいます。日中、100人程度の保育園児が築山で寝転がって遊ばせてしまっている。他の公園はそういうことは一切ないと思います。市内の公園を調べたところ、近所にある2カ所の公園だけ犬の立ち入りを禁止する看板が設置されています。若葉公園についてはできないと言っている。柴崎町の公園には、ちゃんと入口に書いてありました。

**(市長)**

一般の人にご迷惑をかけるような行為というのは公園では厳禁です。

**(総合政策部長)**

恐らく市長へのお手紙の中でもいただいていると思いますが、犬の関係ですと、公園緑地課か環境対策課が担当部署になりますので、こういうお話があったということで、我々のほうからもきちんと対応するよう申し伝えます。

ただ、犬を公園の中に入れていいかどうかという判断はなかなか難しいです。犬を飼っている方でマナーの悪い方がたくさんいらっしゃいますので、その辺も含めまして対策を各担当のほうに申しますので、よろしくお願いいたします。

**(参加者)**

個人的なことですが、50年以上経つ我が家を建て替えることになりました。その前に、台風等の影響で、防災上迷惑をかけないうちにといい、老朽化した大きな小屋を壊し、建て替えた後、道具の保管や、車を駐車しようと考えていました。しかし、この場所は「2項道路」であり、道路の中央から2メートルをセットバックする必要があると言われました。道具も全部出してしまい、小屋も片づけて、新しい車も買ってしまい、小屋を建てようとなった途端に建たない状態となり、1年経過しています。

仕事の車は雨ざらしで、道具も外へ置いたらさびだらけです。市役所の方にお伺いしたところ、まず道路をセットバックして、そこに仮に砂利などを敷いてセットバックした分の道路だと証明することが必要で、コンクリート舗装するなら2年にかかると言われました。自分の土地ではないようなもので、税金は待ったなしで徴収されます。小屋がぼろぼ

ろでどうしようもなく、やっとう壊して小さな小屋を建て替えようと思ったら建たず、もう来年3月で2年になります。

そういった制度について、私たち庶民には意味がわかりません。個人個人、人それぞれいろいろな理由があると思います。法律がこうだからといった対応ではなく、話し合いが少しできるような対応をしてほしいです。こういうことで悩んでいらっしゃる方もいるかと思い、お話しさせていただきました。よろしくお願いします。

**(総合政策部長)**

今のお話を聞く限りで全てわかっているわけではなく、実際、現場を見ないとわからないのです。お話を聞く限りでの回答になりますが、まず、「2項道路」とおっしゃいましたが、これは建築基準法の第42条第2項で規定する道路のことで、「建物は、4メートル以上の幅員に敷地が2メートル以上接していないと建物は建たない」となっております。恐らく、市の職員が2項道路云々と言ったのは、お客様の小屋の前の道路が4メートルに満たないからだと思います。

その私道を建築基準法上の道路として扱った上で、その道路の真ん中から2メートルずつ下がって、例えば3メートルしか道路の幅がなかったら、それぞれ50センチずつ反対側とおお客様のほうに下がっていただいて、その分はみなし道路という形で道路の扱いをした上で、建築上の敷地とは計算しないで、道路上の形状をつくってください。下がった分の敷地の中で建物を建ててください、まずそれが前提で、それができないと建物は建てませんといった話で、こういう話は市内でいろいろとあり、そういう問題は生じています。

市のほうで寛大な裁量をとったお話はされましたが、実は同じ立川市であっても、立川市長の裁量で許可したり、認めることはできません。それは特定行政庁といいまして、立川市長の権限の及ばないところで職員が建築確認をおろすという作業をしており、立川市長が口は出せない領域となっております。市民の方から見ると、同じ立川市役所の中の部署の中で変じゃないかと思われそうですが、そういう法律の仕組みになっています。

具体的にどうするという話は申しませんが、まずは2項道路という形で認めていただけるような作業、具体的にはセットバックしていただきまして、その部分を道路形状としてください。そうすると、それで道路という形でみなすことができますので、そこでその道路の下がった分を引いた分の敷地の中でどういった建物を建てるか、そういう話になってくると思います。こういうお話は、市内のいろいろなところで聞くお話ですので、一般の市民の方が聞くとちょっと納得いかないような部分もあるとは思いますが、そういうような状況だと思いますので、もしご不明な点があれば、立川市の建築指導課でお話をさせていただきますので、ぜひご相談をお願いします。

**(参加者)**

教育のところで、学力向上というので、小学校の英語に関する資料が載っておりますが、中学校の英語科の講師として長年働いていたことがありまして、現場の声をせっかくなのでお届けできたらと思います。

以前からALT（外国語指導助手）を派遣していただいているのですが、一度、本当にレベルの低い先生が派遣されたことがありました。英語科のほうと学校側と派遣会社の方に来ていただいて話し合いをさせていただいたとき、立川市は予算が少ないからだと言われました。市によってその額は違うのでしょうか。

小学校で中途半端なことを教えてきてくれるよりも、「中学校側に何を教えてきたら助かるかと聞いてほしい」というような意見がありました。小中連携の話が出ておりましたので、ここはとても大切なことだと思います。1 中学校 1 小学校でなかったとしても、もう少し中学校の英語科と小学校の責任者の方たちで連絡を密に取り合ったら、もう少しプラスになるかなと思います。

文科省のほうから来ていることなので仕方ないかもしれませんが、英語をきちっと教えるという立場で勉強してこなかった小学校の先生が苦戦していらっしゃるというのは結構あります。市で、何らかの形で、小学校当たり 1 人でも 2 人でもいいので、そういう方たちの英語のレベルを上げて、その先生たちが少しでも助かるような方向に進めていけたらいいかなと思いました。

#### (市長)

まず、英語の能力が低い先生と予算との関係というのは、方便だと思います。大勢の中ですから、そういった方はいるかとは思いますが、予算とは関係なく、そういうことはありません。

それから、中途半端な教え方をしても仕方がないということは、そのとおりだと思います。ただ、いわゆる社会の、市民全体の機運を上げるためには、何らかのアクションを行政のほうでやっていかなければ何事も始まらないと思います。来年から小学校の 3 年生で英語教育が始まりますが、暗中模索の中でスタートせざるを得ない状況があります。しかし、世の中の機運を盛り立てるのには、間違いなくそんな機運になっていくと。そういう中から充実させていかなければならないと思っています。

#### (参加者)

立川市全体の自治会活動について、市長ご自身として長年のご経験で、現状をどう打開しなければならないとお考えになっていらっしゃるのか。それと、現役員の活動の中で、こういう部分を改善していかなきゃいけないのではないかとといった市長の公のご意見でも結構ですし、日ごろ、地域で感じておられる個人のご意見でも結構です。我々としては、やはり高齢化による会員の減少、新規住民または入居者の自治会未加入、こういう問題と日ごろやり取りしておりますが、行政として、今後、自治会活動に何かサポートという面でお考えがあるかどうかお尋ねしたいと思います。

以上でございます。よろしくお願いします。

#### (市長)

自治会に関しましては、若いころですが、自治会の役員を 5 年ほどやった経験があります。その当時は、まだ 60%、70% の加入率でしたので、大変やりやすいと感じました。現在の自治会の加入率は、市全体で 40% 台になってしまい、大変厳しい状況にあることは確かであります。しかし、現在の自治連の会長は、本当に頭が下がるほど熱心にいろいろ活動していただいています。実は今度、立川市自治会連合会が総務省の表彰を受けられましたが、それだけ頑張っていただいております。

何故こんなに加入者が減っているのか、私が肌で感じておりますのは、様々なサービスが実は自治会を通さなくても知ることや受けることもできる時代になってきていることがあります。自治体の責任を一手に背負う立場の私が言うのはちょっとおこがましく、言いづらい面もあるのですが、加入率 80%、90% の時代は、個人個人がいろいろな面で役所に

何か頼んでもやってくれなく、自治会を通さなければならず、個人個人の言い分ばかり聞いていられないよという時代でした。

若いころは、そこら辺の道路はみんな砂利道ばかりでした。砂利道に穴があいて水がたまってしまうので何とかしてくれと個人で言ってもだめでしたが、自治会を通すと、その月のうちに補修される。そういうことがありまして、そこら辺の問題が私は一番大きいのではないかなと思います。役所の直接サービスというのか、多岐にわたってサービスできるようになりました。一番大きいのは、SNSを使った情報のやり取りで、現場の写真までわかるわけですから、こういった要因が一番大きなのではないかなと思います。

これ以上言うと失言になるかもしれませんが、「自治会に頼まなくても、役所に直接頼めば何だってできるのだから、困ったことなんかないよ」と言われたことがつい最近ありました。税金を納めているから、役所でサービスするのが当たり前だと反論を食ったことがあります、そういった要因があるのではないかなと思います。

逆の見方をすると、4割以上の方が自治会に加盟していただいて、例えばその地域のお祭りだとか、運動会だとか、いろいろな形で子供の教育を地域でやろうといった雰囲気を残していただいて活動していることに関して、私としては大変頭の下がる思いですし、そうやって育てられた子供は、きちんとした社会性を身につけて社会の役に立てるような人格を持った大人になれるのではないかな、なってくれるのではないかなと思っており、大変ありがたいと思っています。

それから、自治会さんで一番重たい課題は、防犯灯の管理運営が挙げられます。昔は自治会で防犯灯を持っていたから、自分たちの集めたお金で防犯灯を設置していましたが、柱も古く、器具も昔の電球で、管理が大変です。そう遠くない将来に市が一括で管理運営をしていこうじゃないかなと思っています。そして、自治会が持っている防犯灯と市が持っている街路灯がオーバーラップしているところが結構ありますが、そういった箇所の整理も一緒にしていこうじゃないかなと思っています。1万を超える数があるそうですから、きちんと整理を図っていきたいです。

これからも自治会連合会と一緒に頑張ってまいります。

#### （参加者）

エキキュートの中に、東京観光情報センター多摩がオープンしました。観光関係の仕事や、まちの案内人をやっていますが、いろいろな情報を持っていくと、これは東京都の許可がないとだめですとか、いろいろなことで断られます。オリンピックを控えたグッドタイミングなオープンだったと思います。都の規制等がありますが、観光情報センター多摩の有効利用が考えられないものかなと思います。

オープン時は、都知事や市長も行かれたと思います。まだスタッフが暇そうにしています。場所的にいろいろな問題があって、エキキュートの3階だそうです、最初に行くときに何回か聞いてやっとたどり着いたような感じでした。タクロスの1階に市の観光案内所があり、市の職員と私たちまちの案内人が交代で対応しておりますが、行政として何かうまくできないものかなと思っています。

昭和記念公園のことや、流鏝馬もそうですけど、いろいろな情報を持っていこうとしますが、許可がないとここには置けませんとか、そんなことばかり言っています。何回も市長にいろいろクレームで出したことがありますけど、あまり規制強化すると活性化を阻害

すると思います。先ほどいろいろな規制の問題もありましたが、あまり規制、規制で縛ってしまうと、行動の自由を奪われて、せっかくまちを活性化しようかという気持ちはあるのですが阻まれてしまう。かえって害になるというような、そういう板挟みです。どのような見解をお持ちでしょうか。

(市長)

今のお話のとおりのお気持ちを私も持っています。そもそも、東京都の観光情報センターは、知事が当選をして、突然、半年以内にオープンせよということで予算措置されました。元々、あそこは場所も方向性も何も決まっていなかった多摩の情報発信をするために、立川駅の直近に観光情報センターをつくれということで始まった話です。場所も通路を無理やりあけさせてつくったような状況です。その後、私も直接、東京都へ行って、観光情報センターの改善を図ってほしいと、あるいは、東京都市長会として多摩の情報を発信してもらうために、充実、発展をさせてほしいというお願いをしました。東京都も真剣に今の状況が満足できない状況であるということは十二分に承知しているようで、予算措置をしながら充実、拡大を来年度対応していくという方向になっております。

ご存じでしょうけれども、立川だけの情報ではなく、多摩地区、東京都西部、三多摩地区の情報を発信していきますよということです。

(参加者)

自分の近所の方が、どういう日常生活に対してどういう意見を持っているのかということ学ぶ目的で参加しましたが、今回は近所から離れて、この周辺の方々はどういうことに不満があるのか、どういうことに心配があるのか、いろいろな問題が立川市にもあるということを変えて学ぶことができました。

特に質問はないのですが、1点だけ少し気になっていることが、2020年のオリンピックで、立川市にもたくさんの観光客の方が来るとしています。西砂町には、すぐ近くに横田基地もあり、テロが心配です。今、海外で悲惨なニュースが取り上げられています。オリンピックシーズンが一番そういった危険が増えると思うので、テロ対策についてどうお考えなのか気になります。

(市長)

テロ対策は私の守備範囲ではないのですが、今回のトランプ大統領の来日は、オバマさんが来日した時に比べ、すごかったです。特別な警備で、防犯カメラも非常に多く対応していたようで、警視庁としても、2020年へ向けて、かなりナーバスに考えているようです、しっかりと対応を図ってくれるのではないかと思います。

2020年の話が出ましたが、立川には、残念ながらオリンピックの競技ができるような運動場やアリーナを持っておりません。しかし立川にはホテルが多く存在しており、客室数の確保も図れますので、そういった強みを生かしていきたいと思っています。

唯一、オリンピック選手とコンタクトができそうなのが、東京女子体育大学です。東京女子体育大学には、アリーナや公認記録がとれるようなグラウンドが整備されています。また、新体操の秋山エリカさんをはじめ、数名のオリンピックの方が教授として活躍されています。今の時点では、細かいことを申し上げることはできませんが、ふれあいができるような形のオリンピックを迎えることができるのではかと思っています。

**(参加者)**

立川市科学教育センターは52年の歴史があり、私も小学校の五、六年生のときにセンター員として学びました。今まさに活動している子たちは、年々人数が増え、今年160人を超えています。子供たちは本当に真剣に学んでいて、市で整備してくださった科学教育センターが今後も継続していけるよう、ぜひ応援をよろしくお願いします。

先週、宇宙エレベーターロボット競技会があり、立川市の科学センターから出場し、全国大会準優勝を勝ち取りました。来年は、立飛さんのアリーナが建ちましたので、立飛アリーナで宇宙エレベーターロボット競技会全国大会を開催したと思っており、立飛の社長さんから前向きな発言をいただいております。まだ公式に決まったわけではないのですが、応援よろしくお願いします。以上です。

### **3 閉会の挨拶**

**(市長)**

今日はどうもありがとうございました。去年に引き続きまして、本当に活発なご意見、いろいろな内容のものを頂戴いたしました。いただきましたご意見等を何らかの形で行政のほうに生かしてまいりたいと考えております。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。